日本キリスト教団 **東金教会〔５０〕**

2018年１２月１６日 降誕前第２主日礼拝(第三アドベント)

年度目標　《繋がれて生きる》

聖　　句　わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。　ヨハネ福音書１５章５節

【礼拝式次第】

司式	藤田
奏楽	中里
受付	三枝
案内	寺内
名札係	安延
礼拝感謝祈祷	五木田
〃　〃	岡村

前奏		中里
讃美歌	218	一同
使徒信条	566	〃
交読文	44	司・会衆
主の祈り	564	一同
聖書	ルカ福音書 1:8～17	司会者
祈祷		藤田
新聖歌	70	一同
み言葉の伝え		朴
「夜を守る業」		
新聖歌	72	一同
献金		
礼拝感謝		五木田
〃　〃		岡村
報告		藤田
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)		朴
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会 12月19日(水)午後７時半～
早天祈祷会 月-金7時(除祭日)メーヤー館
聖歌練習 本日礼拝後
聖書輪読会 12月23日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会 12月23日(日)10:25-10:30

【報告】

☆今週は第三アドベントです。第一、第二の希望、平和に続き第三アドベントは「喜び」を表現します。神を信じて生きる喜びを味わう信仰者になりたいものです。
☆12月14日(金)持たれました幼稚園・保育園のクリスマス祝会も無事守られ、祝福の内に閉じることを得ました。
☆12月23日のクリスマス礼拝担当は朴牧師です。お祈り下さい。なお、当日の祝会はプレゼント交換がございます。お忘れなきようにご用意下さい。また、12月30日の礼拝は梅田　　先生に講壇をお守り戴く予定でおります。
☆次週の聖書朗読は各長老が担当されます。お覚え下さい。
☆クリスマス献金覚えてお捧げ下さい。
☆年末年始の祈祷会は12/26、1/2，1/9を休会とさせて頂く予定でおります。宜しくお願いします。
☆12月31日(月)午後11時45分より除夜祈祷会が待たれます。2018年を終え、2019年を迎えることを覚え、新たな気持を戴きたいと思います。御出席下さい。
☆12月28日～1月3日，幼・保園は完全休園日です。

【12月16日～12月23日の誕生者】

○小林姉　○小林姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(12/9)	14	28	42
聖研祈祷会(12/12)	3	2	5
聖書輪読会(12/9)	2	4	6
教会学校(12/9)	6	7	13

早天祈祷会			
日	男	女	計
12/9	1	1	2
12/10	1	1	2
12/11	1	1	2
12/12	1	1	2
12/13	1	1	2

主日礼拝献金(１２/9)……３６,２００円
教会学校献金(１２/9)……６,４９２円

【今日のメッセージ】

題　［夜を守る業］
聖　書　ルカ福音書1:8～17
1・闇と死の陰を歩むとき

2・闇夜を照らす業

3・喜びと慰めのおとずれ

【次週(12月２３日)礼拝案内】

題　〈十字架の死に至るまで〉
聖　書　ルカ福音書1:8～17
交読文　43
讃美歌　114番　102番　99番　107番
新聖歌　74番

【次週(12月２３日)礼拝式当番】

御言葉の伝え	朴	
司式者	岡	村
奏楽者	中	里
受付者	澤	本
案内者	三	枝
名札当番	井	上
礼拝感謝祈祷	森	川
〃　〃	薬師	寺
csお話し	朴	
会堂清掃者	薬師	寺
〃　〃		
花係	小	林
看板書き	藤	田

【聖書から】

「智慧と知識の宝はすべてキリストの内に隠れています」。

コロサイ書二章三節

この地上を迷いなく確信を持って生きて行きたい！、それは私たちの等しく願うことではなかろうか。この世は不確かさに満ちている。時代が進めば進む程わたしたちは不確かな不安の中に生きていかねばどう生きれば良いのか。そのような中で時に私はどう生きたらいいか、その迷い、不安を抱え、しかもそれを人に悟られぬよう隠しながら生きたり、ときにはそのように生きたり、あるいは深く掘り下げることを止めうなことを考えることを中止し、刹那的に無気力に閉じこもってしまうようなことを考えることを持つ者をことごとく排除し、己の規格に合わぬ考えを持つ者をことごとく排除し、自分の小さな倉に閉じこもってしまうようなこの窓口を小さくし、その中で安住しようとし、己の内にある智慧と知識に確信が持てない、その生き方をする。そしてこれらの全ての根っこにはなにがあるのか？　古代の賢人は「知るために信じる」ことの大切さを語った。真に生きる意義を見出し、確信をもって、世の内に隠された真理の存在を信じて世に生きるには先ず聖書の神を信じることが大事だと言うのである。信仰は己を神に明け渡すことである。それはけっして容易なことではない。怖いのである。明け渡すにはそれまで己が蓄えてきた経験、悟り(に似たようなもの)、或いは世間の評価、その他自分を支えてくれていた(ように思っていた)諸々のものを明け渡し、己の倉を空けて置く必要がある。けれどもそれがなかなかできない。それゆえ返って己の倉にさらに詰め込み、それで不安を静めようとする。ちょうどゴミ屋敷に住む人がいろんなものを抱えて己の不安を静めようとするように…。「真の智慧と知識の宝はすべてキリストの内にある。それを信頼し、委ねて生きる生き方を学びたい。頼りなさが横たわっていることを思う。わたしたちは確信を持ちたいのである。生きることの真の意味、真の確信を持ち、人生に意味を見出したいのである。どうすればよいのか？　古代の賢人は「知るために信じる」ことの大切さを語った。真に生きる意義を見出し、確信をもって、世の内に隠された真理の存在を信じて世に生きるには先ず聖書の神を信じることが大事だと言うのである。信仰は己を神に明け渡すことである。それはけっして容易なことではない。怖いのである。明け渡すにはそれまで己が蓄えてきた経験、悟り(に似たようなもの)、或いは世間の評価、その他自分を支えてくれていた(ように思っていた)諸々のものを明け渡し、己の倉を空けて置く必要がある。けれどもそれがなかなかできない。それゆえ返って己の倉にさらに詰め込み、それで不安を静めようとする。ちょうどゴミ屋敷に住む人がいろんなものを抱えて己の不安を静めようとするように…。「真の智慧と知識の宝はすべてキリストの内にある。それを信頼し、委ねて生きる生き方を学びたい。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。